

# 「飛び出す市長！～草加の今と未来を語り合いませんか～」 を開催しました【谷塚西部・谷塚中央・谷塚東部地区】

だれもが幸せなまちの実現に向け、市長自ら市役所を飛び出し、市の現状の理解を深めていただくとともに、市民の皆様の声を聴き、対話の力で草加を前進させるための意見交換会を実施しました。

- 【開催日時】 令和7年11月28日（金） 午後7時から午後8時45分  
【開催場所】 谷塚文化センター  
【テーマ】 「草加の今と未来、草加の魅力と課題は何か」  
【参加者数】 11名



## ○参加者からの主なご意見

### <市政運営・行政体制・財政について>

- ・これからの時代は、市の職員の業務を効率化をしていった方が良い。AIも活用し、市職員、市議会議員の定数・経費削減を。
- ・市職員の定数を減らすのは反対。有事の際の対応もあるし、市のために働く人だから大事にしたい。
- ・財政課題は重たいが、クラウドファンディング型ふるさと納税やネーミングライツの取り組みは重要。応援している。

### <市民参加・広報等について>

- ・市長公約に「飛び出す市長」が入っていたので、実現を待っていた。もっと市民参加があればいいなと思った。
- ・「こどもまんなか そうか」について、どのようにこどもを主体的にまちづくりに参画させていくのか？
- ・広報誌はリニューアル後、情報量が増えて、読むのに時間がかかる。月2回にしてほしい。
- ・共通する課題は、人材育成だと思う。人材を発掘し、つなげていくことが重要。つながり共創室が立ち上がったが、どのような構想を持っているのか？

### <教育・子育て環境について>

- ・不登校が増えている。いじめは一時期より落ち着いていると思うが、家でゲームをしている子が増えているかも。コロナの影響もあってか、咳一つ（軽症）で休めるようになっている。登校しなくてもいいといった風潮が高まっている。時代の変化かとは思う。教育現場も変えていかないといけないと感じる。共働き世帯も増えている中で難しい問題、と感じる。

- ・学校内に物が整理されていない部分がある。先生も働き方改革や指導方法の変化などで、指導しきれっていない現状がある。1クラスの人数の見直しなども必要なのかもしれない。
- ・1クラスの人数を減らせると目と手をかけられる環境が作れるかも。タブレットなどもよいが、まずは目の前のことを。タブレットもこどもにとっては重い。
- ・瀬崎小学校でこどもが草加の発展のための提案があった。素晴らしかった。優れた校長の配置を継続してほしい。
- ・外国人の転入が増えている。中学入試は国語力が必要（試験が日本語のため）。家では外国語での会話が多い様子。地域でその下支えができないか。
- ・グローバル人材の育成に当たって、国語力を高めることが必要。まずは母国語でのコミュニケーションができるようにした方がよい。大人でも漢字を誤読する方が多い。論理的思考のできない大人が一定数いる。これからの情報化社会の中、大人がこのような状況のままこどもが育っていく。英語以前に国語力、論理的思考のできる子育てが必要。
- ・獨協大学前<草加松原>駅西側地域は、こどもの数が急増しており、保育園の入園保留が増えている。ゆくゆくは小学校の児童数も問題になるかもしれない。
- ・マンションを建設している企業に対して、土地の譲渡や金銭の寄付などでこどもの部分に充当できるようなことはできないか？
- ・放課後児童クラブ（学童保育）を見に来てほしい。谷塚はいっぱいの状況で第1児童クラブは1年生のみで2年生からは第2児童クラブに入っている。第2児童クラブは、パワフルな子を見切れない状況もある。

#### <地域の安全・文化・魅力向上について>

- ・町会が避難訓練を実施したが、市民参加が少なかった。有事の際に、避難所生活をするところもあるだろうが、避難所に人が入りきるか、温かい食事はあるのか、給食（自校方式）の設備が万が一の際に活用できるのではという思いから、自校方式は市民として大切にしたい。
- ・平和の取り組みとして、中学生を広島県に派遣した。素晴らしいと思っている。これからも平和への取り組みは継続してほしい。
- ・図書館が充実していて、個人的にととても助かっている。
- ・古い歴史を感じる街並みが減っている。
- ・草加お宝かるたを1年生に配っているためか、こどもたちはみんな知っており、かるたを通して草加の良さをみんな知っている。
- ・市歌4番作成はいいアイデアだと思って聞いていた。